



長野県として初めて海外で県産花きの輸出プロモーションを実施します ～ドーハ国際園芸博覧会に出展～

長野県は、初の海外での県産花きの輸出プロモーションとして、ドーハ国際園芸博覧会に国際的に評価の高い「ラナンキュラス」、海外で人気の「サクラ」を出展し、中東地域での県産花きの認知度向上と販路拡大を目指します

博覧会には生産者が自ら赴き、現地バイヤーに県産花きを売り込みます

1 ドーハ国際園芸博覧会の概要 (中東地域で初開催)

- ◆正式名称 2023年ドーハ国際園芸博覧会 (最上位 (A1クラス) の国際園芸博覧会)
- ◆開催テーマ Green Desert, Better Environment (緑の砂漠、よりよい環境)
- ◆開催期間 R5年10月2日(月)～R6年3月28日(木)
- ◆開催場所 カタール国ドーハ、アルビッドパーク (面積170ha)
- ◆想定来場者 300万人
- ◆参加国数 70か国 (日本パビリオンを含む)



ドーハ国際園芸博覧会場

2 長野県の出展概要 (都道府県として唯一出展)

- ◆期間 R6年2月13日(木)～2月25日(日)
- ◆場所 日本パビリオン内メイン展示スタンド
- ◆テーマ ～Beautiful Flowers from NAGANO～
- ◆内容 海外富裕層に人気が高いラナンキュラス約20品種とサクラを展示
実物を見てもらうことにより各国のバイヤー、ユーザーへPR
生産者、市場輸出担当者を交えた商談会の開催



日本パビリオン

◆展示花き

○ラナンキュラス (松本市産)

日本オリジナル品種等。手間暇をかけ、徹底した管理により、極めて高い品質を実現

10年に一度開催される花のオリンピック「フロリアード」で、2回連続(2012、2022)最高賞

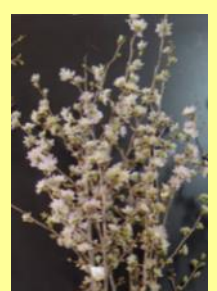
○ケイオウザクラ (千曲市産)

近年、和風の枝物が注目されている。

特にサクラは日本らしい花として人気が高い。



展示イメージ



色とりどりのラナンキュラス ケイオウザクラ

花のある暮らしを

しあわせ信州



長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

(問合せ先)

農政部園芸畜産課果樹・花き係 三井、荻原

TEL 026-235-7227 (直通)

026-232-0111 (代表) 内線 3093

FAX 026-235-7481

e-mail enchiku@pref.nagano.lg.jp

「ランタンキュラス」

信州の冬の宝石



「ランタンキュラス（キンポウゲ科）」は、冬から春にかけて出荷される長野県の切り花の代表格であり、バラに似た花形や花色の豊富なことが特徴です。

寒さが一段と増すこの時期、一足早い春を感じさせてくれる切り花として、テーブルフラワーやブライダルブーケの主役となって活躍します。

県内では、冬期の日照時間が豊富な、松本、諏訪地域で栽培が盛んです。

近年は、「日本産のプレミアムな切り花」として、北米や東南アジア等にも輸出されています。



●出荷期間：12月～4月

●生産面積・量：70a、38万本



フラワースピリット（松本市）のランタンキュラスは、「花のオリンピック」と称される「フロリアード 2012」「フロリアード 2022」で最高賞を受賞し、世界的に注目されています。

「啓翁桜（ケイオウザクラ）」

早春を告げる花



「啓翁桜」は、つぼみの花が開くと、うす紅色をしたボリューム感のある花が綺麗に咲きそろいます。すっきりとスプレー状に伸びた枝に花をつける「切り花」に適した桜です。

山形県が全国出荷量日本一として知られていますが、全国的に需要が多く、2～3月の農閑期に出荷できるため、耕作放棄地や遊休農地対策として長野県内でも栽培が広がりつつあります。また、桜は、一定期間低温にさらされることで開花の準備を始めます。高冷地の長野県は気温が低いことから開花の条件が揃うのが早く、啓翁桜の栽培地として適しています。

啓翁桜は早春を告げる花として年末年始や卒業、入学シーズンなどのイベント用として重宝されていますが、冬に出荷される啓翁桜は、11月中旬ころから、枝を切り出し、冷蔵施設などで保管されます。その後、出荷の時期に合わせ計画的にハウスや促成室に移し、暖められ、つぼみがピンク色になった頃に出荷されます。

●出荷期間：12月～4月

●生産面積・量：9ha、5.3万本